

みずほCustomer Desk Report 2022/12/02 号 (As of 2022/12/01)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	137.13
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	137.38	1.0424	143.21	1.2076	0.6800
SYD-NY High	138.11	1.0534	143.75	1.2311	0.6847
SYD-NY Low	135.21	1.0393	141.93	1.2056	0.6753
NY 5:00 PM	135.33	1.0526	142.47	1.2264	0.6812
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	34,395.01	▲ 194.76	日本2年債	▲0.0300%	▲0.0100%
NASDAQ	11,482.45	14.45	日本10年債	0.2500%	0.0000%
S&P	4,076.57	▲ 3.54	米国2年債	4.2338%	▲0.0929%
日経平均	28,226.08	257.09	米国5年債	3.6653%	▲0.0861%
TOPIX	1,986.46	0.89	米国10年債	3.5085%	▲0.1016%
シカゴ日経先物	28,010.00	▲ 365.00	独10年債	1.8210%	▲0.1210%
ロンドンFT	7,558.49	▲ 14.56	英10年債	3.0985%	▲0.0625%
DAX	14,490.30	93.26	豪10年債	3.4940%	▲0.0720%
ハンセン指数	18,736.44	139.21	USDJPY 1M Vol	14.39%	0.43%
上海総合	3,165.47	14.14	USDJPY 3M Vol	12.82%	0.36%
NY金	1,815.20	55.30	USDJPY 6M Vol	11.95%	0.18%
WTI	81.22	0.67	USDJPY 1M 25RR	▲1.33%	Yen Call Over
CRB指数	279.46	▲ 0.29	EURJPY 3M Vol	11.90%	0.10%
ドルインデックス	104.73	▲ 1.22	EURJPY 6M Vol	11.61%	▲0.07%

東京	東京時間に137.38レベルでオープンしたドル円は、前日の利上げペースの減速について言及したパウエルFRB議長の発言をうけたドル安の流れが継続し、仲値にかけて136.50付近まで下落。その後は136円台後半でもみ合うも、東京時間終盤に136.50を割り込むと、136.40レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、136.40レベルでオープン。主要通貨に対してドル売りが進んだものの、クロス円が上昇したことでほぼ横ばい推移となった。136.31レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は138円台前半でスタート。前日(11/30)にパウエルFRB議長が利上げペース減速を示唆したことから強まったドル売りがオセアニア時間から再開する流れとなり、欧州勢参入後には一時135.85まで下落。その後も上値重く推移し、136.31レベルでNYオープン。朝方は発表された米10月コアPCEデフレーターは前月比ペースで予想をわずかに下回る中、ドル売りが継続し、一時135.75まで下押し。その後、10時発表の米11月ISM製造業景況指数が予想を下回り、米利上げの減速期待が再度強まり、米金利低下とともに135円台半ばまで下押し。午後は小動きながらもじり安推移。安値を135.21まで更新し、結局、135.33レベルでクローズ。海外市場のユーロドルは1.0400付近でスタート。米金利が伸び悩む中、1.04台半ばで底堅く推移し、1.0444レベルでNYオープン。朝方はドルロングの手仕舞いが進む中、1.05台乗せを試す展開。ISM製造業景況指数発表直後に高値の1.0534をつけた。その後、1.04台後半まで反落するも、すぐに買い戻さ1.05台を回復。午後はじり高推移。終盤は高値圏で小動きとなり、1.0526レベルでクローズ。

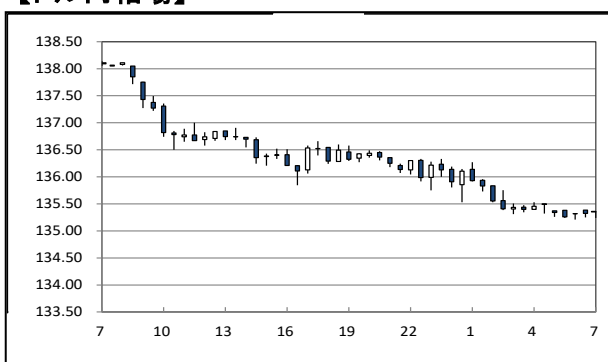
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月1日	16:00	独 小売売上高(前月比)	10月 -2.8%	-0.5%
	19:00	欧 失業率	10月 6.5%	6.6%
	22:30	米 PCEデフレーター(前月比/前年比)	10月 0.3%/6.0%	0.4%/6.0%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	26-Nov 225k	235k
12月2日	00:00	米 建設支出(前月比)	10月 -0.3%	-0.2%
	00:00	米 ISM製造業景況指数	11月 49.0	49.7

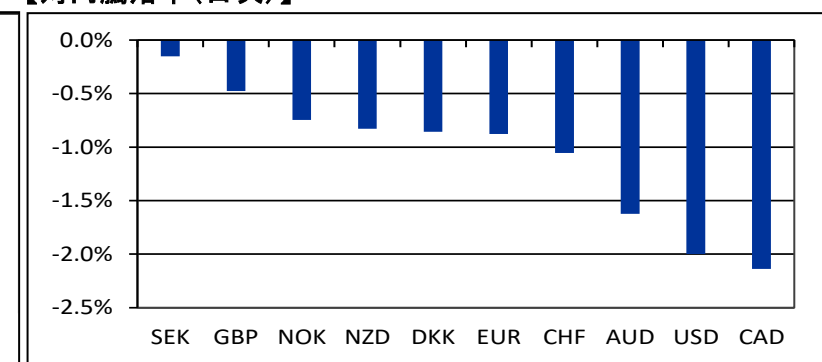
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月2日	19:00	欧 PPI(前月比/前年比)	10月 -2.0%/31.7%	1.6%/41.9%
	22:30	米 非農業部門雇用者数変化	11月 200k	261k
	22:30	米 失業率	11月 3.7%	3.7%
	22:30	米 平均時給(前月比/前年比)	11月 0.3%/4.6%	0.4%/4.7%
	23:15	米 バーキン・リッチモンド連銀総裁 講演	-	-
12月3日	00:15	米 エバンス・シカゴ連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	133.00-136.00	1.0500-1.0700	141.50-143.00

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は4日続落。前日(11/30)のパウエルFRB議長の講演で「早ければ12月にも利上げペースを減速する可能性がある」ということを示唆すると米利上げ減速懸念が強まり全般的にドル売りが強まり昨日もその流れを引き継ぐ形。昨日公表されたISM製造業景気指数が49.0と予想を下回ったことも相場の重しとなると一時本年8月以来の水準まで値を下げた。本日も上値重い展開を予想する。米利上げ期待を背景に上昇を続けてきたドル円相場であったがその流れも一蹴し軟調地合いとなる。135円の水準では実需の買い需要もあるであろうことから下値を支える可能性はあるものの直近の流れを変えるものにはならないか。また海外時間には11月米雇用統計の公表を控えており本日中には新たな方向感を見出す局面にはなりがたい。米11月雇用統計等の経済指標が軟調な結果になると、さらに下値を模索する可能性が懸念される点には注視したい。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 小野崎・木村